

# 東大和三中だより

平成30年11月13日

11月号(No.7)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

## 進路について考える時期です。

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

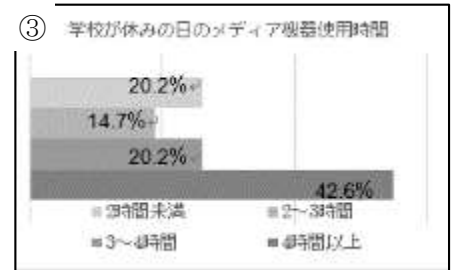
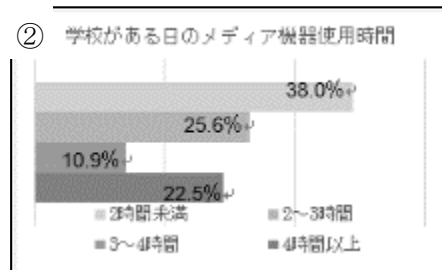
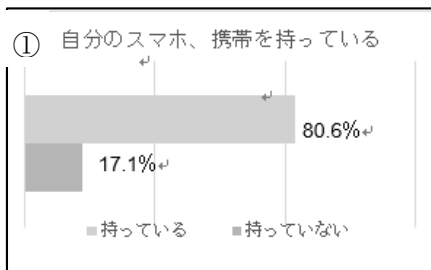
先月の合唱コンクールは、審査員の一人として大いに苦勞しました。どのクラスの合唱も、一生懸命に歌おうという気持ちが伝わってきて「審査する」というよりも聞き入ってしまったからです。確かにクラスによっては「音程が合っていないかもしれない。」とか「歌い出しのタイミングがずれているような気がする」と感じる場面はありました。ただ、それ以上に自分たちが出来る合唱を披露するのだというひたむきな姿勢が、それぞれのクラスの合唱の「味」となって表れていて、点数をつけるのに悩まされたのです。金賞・銀賞などの順位が結果としてつきましたが、三中生の歌声はどのクラスもどの学年も、とても素敵だったと、今しみじみと思い返しています。

さて、11月に入り、3年生は進路面談が行われています。9年間の義務教育の最終局面で、自分の力で進路を切り拓いていかなければならない大事な時期です。自分の将来像を思い描き、それに向けての計画を立て実現させていく過程で、まず考えなければならないのは、自分の個性、能力、適性です。そして中学卒業後の進路先に関する情報をきちんと集めて、保護者と相談しながら、生徒自身が納得することも大切です。家庭での話し合いを十分に行いながら、学校と家庭が協力して充実した進路面談が行われることを期待しています。

このように3年生は進路選択を考える上でとても重要な時期になっていますが、3年になって急に始まるわけではありません。1・2年での生活習慣・学習の積み重ねがあつてのものなのです。日頃の教科学習はもちろん、望ましい勤労観や職業観の形成に向けて、1・2年において進路に関する学習を行っています。ちょうど2年生の職場体験も進路学習の一環として大切です。

中学の3年間は実は長いようで短いと感じる卒業生が多いようです。中学卒業後の進路を意識した学校生活を送ること。そのためにも1・2年生の段階から進路についても意識していくことが出来るようご家庭のご協力をお願いいたします。

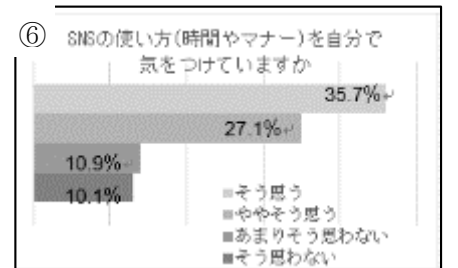
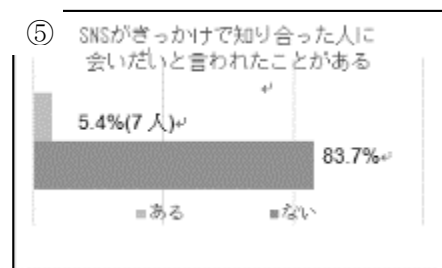
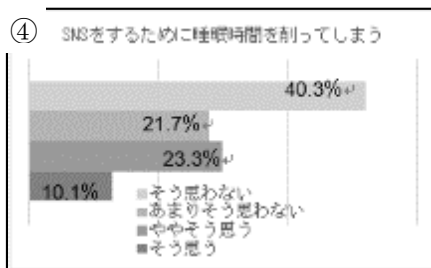
# スマホ等の利用状況について



保健部で、本校の1年生を対象（調査数129人）にスマホ等の利用状況について調査しました。前号でも書きましたが、上のグラフ②③のように**1日の使用時間が4時間以上の生徒の割合が非常に高い**ことが問題です。

また、下のグラフ④のように睡眠時間が削られてしまっていると感じる生徒が多いのは健康面で心配ですし、⑤のグラフは**何らかの事件に巻き込まれる可能性を示唆する**もので、たいへん危険であると言えます。そして、グラフ⑥のように**使い方を自分で気を付けていると思わない生徒が20%もいる**ことについては、『三中 SNS ルール』（三中ホームページにあります）等を使っての継続的な指導が必要であると考えます。

期末考査まで、あと5日。『スマホが学力を破壊する』（川島 隆太 著 集英社新書）という本には、「**学習時間が長くても、睡眠を適切にとっても、スマホを長く使用していると、成績は低くなってしまう**」という恐ろしいデータが載っています。せっかく勉強したことが、スマホの影響で水の泡にならないように、この機会に使い方をぜひ見直してほしいと願います。



## 三中の道徳

11月10日（土）は、「道徳授業地区公開講座」の日でした。2校時は教室で各担任が道徳の授業をし、3校時は体育館で全校生徒を相手に講師の先生が授業をしてくださいました。講師は、東京都教職員研修センター教授の朝倉 諭美子（ゆみこ）先生です。三中は今年度、東京都の道徳教育推進拠点校に指定され、「道徳教育の充実」を主題に研究を進めています。これまでに教材研究の仕方や効果的な発問の吟味、そして教科化に向けた評価のあり方などを追究してきました。朝倉先生は専任講師として、研究授業における指導・助言等を通して、道徳の授業力向上に力を貸してくださっています。

板書が工夫された3年の授業。思考の流れがわかります。



朝倉先生の朗読に聴き入っていました。「よりよく生きる喜び」がテーマ。



# 地域の中での活動

11月5日（月）～7日（水）の3日間、2年生は職場体験学習をしました。地域にある45カ所の事業所を訪問し、実際に仕事を体験することで、「働くことの厳しさ、喜び、やりがいなどを知り、働くことの意義や今後の生き方を考える」というのが目的です。



11月10日（土）の午後は、三中の東にある「東京街道団地」にお住まいの高齢者のお宅を訪問しました。150名ほどが参加し、玄関でプレゼントを手渡し、「何か困ったことや、体調が悪い時などは早目に自治会にお知らせくださいとのことです。お体に気を付けてお過ごしください。」などの言葉をかけました。これは、10数年前から続いている歴史のあるボランティア活動です。



《参加した生徒の感想》・デイサービスなどに手伝いに行ったりしていたので、そのときに学んだことが生かされたと思いました。 ・やさしい方が多かったです。足を痛めていても、出てきてくれてうれしかった。また来年も参加したい。 ・話をしてくれる方などがよくいたので、元気をもらえました。 ・笑顔がたくさん見られてよかったです。

また、悪天候が予想されたため中止になってしまいましたが、地域のごみを拾い歩く美化活動である「みんなでおそうじ」には、3年生の11名が実行委員に立候補し、準備を進めてきました。

これら3つの活動のように、「誇りある三中」生の自覚を強くもち、これからも地域に貢献できる人であってほしいと思います。

# 読書の秋・芸術の秋・スポーツの秋！

「三中日記」より 三中ホームページにて、鋭意更新中！

10月15日（月）

副校長の読み聞かせ



昼休み。視聴覚室で1年生を対象にした「朗読劇場」を実施しました。1学期は2・3年生を対象に行ったので、今年度2回目の試みです。

朗読は、副校長。効果音とBGMはM先生による生ギター演奏。お話は「世界でいちばんやかましい音」（ベンジャミン＝エルキン）です。最初は笑いながら聞いていた生徒たちも、朗読が進むにつれて引き込まれるように集中して聴いていました。昼休みのあわただしい時間帯にもかかわらず、20名弱の1年生が集まってくれました。

10月19日（金）図書室のレイアウト



校内巡回中に図書室をのぞきました。新着本や図書支援員さんのお薦め本のコーナーがリニューアルされているので、思わず立ち読みしてしまいました。ついでに二冊だけ借りることにしました。

読書の秋です。秋の夜長に本を読んでみたらいかがでしょうか。

10月18日（木）

合唱コンクール

部活動の発表



まずは、合唱部。M先生のギター伴奏というサプライズ演出もあり、にじいろ、ジュピターなど素晴らしいハーモニーを聴かせてくれました。6名という少人数でも透き通るような歌声で会場の人たちを魅了してくれました。

続いて、吹奏楽部のパフォーマンスが披露されました。Jポップのメドレーやダンスパフォーマンス入りの演奏、MCでは日本管楽合奏コンテスト（11月）出場の宣伝などもまじえて、見事な演奏で圧倒されました。



10月25日（木） 保健体育の研究授業



体育館では2年生男子の保健体育の研究授業が行われました。

マット運動で、倒立前転の練習をしているところでした。倒立姿勢で一回静止してから前転する部分が難しく、苦勞しているようでしたが、何度もチャレンジする姿が一瞬懸命でよいと思いました。